

自己評価報告書

平成 23 年 4 月 11 日現在

機関番号：32601

研究種目：基盤研究（C）

研究期間：2008～2012

課題番号：20520238

研究課題名（和文）北アイルランドの詩的想像力——紛争地域における文化・歴史・社会の研究

研究課題名（英文）Poetic Imagination in Northern Ireland: Study on the Culture, History and Society in the Conflict Areas

研究代表者

佐藤 亨 (SATO TORU)

青山学院大学・経営学部・教授

研究者番号：40245337

研究分野：人文学

科研費の分科・細目：文学・英米・英語圏文学

キーワード：紛争、民衆的想像力、芸術の役割、植民地、ネイション

1. 研究計画の概要

本研究は、地域的には北アイルランド（ないしアルスター地方）を、時代的には 20 世紀から現在まで、とくに北アイルランド紛争が始まった 1960 年代後半以降を中心に扱う。題目を「詩的想像力」とするのは、研究対象を文学作品に限定せず、北アイルランド住民の民衆的想像力をも広く視野に入れるからである。具体的には詩作品以外に、プロテスタントとカトリックという宗派ごとに分断されたコミュニティに見られるミューラル（政治的主張をもつ壁絵）やグラフィティ（政治的主張をもつ言葉）、あるいは各コミュニティで歌われるソング（伝承歌など）なども研究対象とする。

2. 研究の進捗状況

本研究は詩人の詩作品の研究と並行して、ミューラルやグラフィティなど、北アイルランドの宗派別コミュニティに見られる壁絵や言葉などを現地調査することがある。後者については、「3. 現在までの達成度」で後述するように著書として結実した。前者については取り上げるべき詩人のうち（全体では 10 人程度の詩人）半分くらいの詩人の研究までしか進んでいない。その理由の一つとして、北アイルランドを代表する詩人兼文芸評論家のシェイマス・ディーン著『アイルランド文学小史』の翻訳に数年関わっていたということが挙げられる。本翻訳は今年度前半に刊行される運びとなるので、今後はいっそう、詩人研究に力を注ぎたい。

3. 現在までの達成度

① 当初の計画以上に進展している。

（理由）本研究の目標として研究成果を著書にまとめることがある。一つはミューラルに関する著書、もう一つは北アイルランド詩人に関する著書である。そのうち、前者については平成 23 年 3 月に『北アイルランドとミューラル』（水声社）として結実した。後者については各論を書き続けている最中である。

4. 今後の研究の推進方策

本研究は 2008 年度（平成 20 年度）から平成 2012 年度（平成 24 年度）までの 5 年間である。まずその真ん中の年である 2010 年度末に著書を刊行でき、研究目標の一部は達成した。2011 年度（平成 23 年度）は 4 月 1 日から翌年 3 月 31 日まで本務校から北アイルランドでの在外研究の機会を与えられた。ミューラル研究の第一人者、アルスター大学ビル・ロールストン教授のもとで研究を行う。したがって本年度は、本研究テーマのうち、とりわけミューラルに見られる民衆的想像力の展開について現地調査を機会があるごとに行いたい。詩人論についてはシェイマス・ヒーニーを再度扱う予定である。2012 年度（平成 24 年度）は最後の年になるので、研究計画の大きな部分を占める北アイルランド現代詩人論を書き進めたい。

5. 代表的な研究成果

（研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線）

〔雑誌論文〕（計 4 件）

- ① 佐藤亨、「歌のアイルランド化について——‘Shenandoah’を手がかりに」、『エーデル』28 巻、18-31、2008 年、査読有。

- ② 佐藤亨、「アセンダンシーのジレンマ——サミュエル・ファークソンの『アイルランドの—プロテスタントの頭と心の対話』(1833)をめぐって」、『英文学思潮』第81巻、49—63、2008年、査読無。
- ③ 佐藤亨、「ボードレール・パリ・エリオット——『遊歩者』の系譜」、*T. S. Eliot Review*, 20巻、34—47、2009年、査読有。
- ④ 佐藤亨、「変貌するミューラル——北アイルランド和平進展の中で」、『青山経営論集』第45巻、別冊1、39—54、2010年、査読無。

〔学会発表〕(計2件)

- ① 佐藤亨、「Two Versions of *Antigone* in Northern Ireland: Seamus Heaney's *The Burial at Thebes* [2004] and Tom Paulin's *The Riot Act* [1984]', International Association for the Study of Irish Literature、2008年。
- ② 佐藤亨、「シェイマス・ヒーニーの想像力——『テーベの埋葬』を中心に」、アイリッシュ・アメリカン研究会、2009年。

〔図書〕(計3件)

- ① 佐藤亨、「シェイマス・ヒーニーの『アンティゴネー』——『テーベの埋葬』をめぐって」(共著、『ギリシア劇と能の再生——声と身体の諸相』所収)、135 - 176、水声社、2009年。
- ② 佐藤亨、「エリオットとヨーロッパ——荒地からの出発」(共著、『モダンにしてアンチモダン——T. S. エリオットの肖像』に所収)、255 - 272、研究社、2010年。
- ③ 佐藤亨、『北アイルランドとミューラル』水声社、1—136、2011年。